

【月案】6月・3歳児

今月の保育のポイント

- 子ども一人ひとりが個性を発揮し、遊びたい遊びを実現し楽しめるような1か月であることを目標にする。
- 遊びの持続力はまだそこまで長くない3歳児。興味を惹く素材等を用意しておき、同じような遊びでも変化を加えられ、新しい発見ができるような環境を整えておく。
- 保育者が先頭に立って楽しく遊ぶ様子を見せることで、子どもが遊びたくなるような楽しい雰囲気を作り出し、遊びに触れる機会を作り出していく。
- 気温や天気に応じて、衣服を調整したり、汗や汚れを拭いて清潔でいられることの気持ち良さを伝えていく。
- 自分で身の回りの支度をやってみようとする気持ちに共感し、子どもが自信をつけられるように促す。
- 雨の日の過ごし方を伝え、雨上がりの水たまりや、身近な自然に触れ、梅雨時期に楽しめる遊びを広げていく。

月のねらい

- 梅雨の時期の過ごし方を知り、安全に過ごそうとする。
- 保育者や友達に対して自分の思いをしぐさや言葉で伝えようとする。
- 身の回りのことを自らやってみようとする。
- 梅雨の自然を見たり触れたりし、雨や空などの自然について興味を持つ。
- 梅雨期を快適に過ごせるようにする。
- 保育者の見守りの中、安定して過ごす。
- 梅雨期でも体をのびのびと動かして遊ぶことを楽しむ。
- 様々な製作を通して、行事に興味を持つ。

週のねらい

その1

- 1週目：虫歯予防デーを通して、歯の健康に興味を持つ（養護）
- 2週目：梅雨を知り、自然の変化に興味を持つ（教育）
- 3週目：好きな友達と関わって遊ぶことを楽しむ（教育）
- 4週目：戸外で身体を動かす心地よさを感じる（教育）

その2

- 1週目：自分の思いを友達や保育者に言葉で伝えられるようにする（教育）
- 2週目：生活の流れに見通しを持ち、身の回りのことを自分でやろうとする（養護）
- 3週目：梅雨期の安全や健康に留意して、快適に過ごせるようにする（養護）
- 4週目：梅雨の自然を見たり触れたりして、興味や関心をもつ（教育）

その3

- 1週目：イメージを膨らませながら、好きな遊びを存分に楽しむ（教育）
- 2週目：父の日について知り、製作することを楽しむ（教育）

- 3週目：着替えをしたり、シャワーを浴びたりしながら梅雨期を心地よく過ごす（養護）
- 4週目：好きな遊びを通して友達と関わり、友達の思いに気付く（教育）

その4

- 1週目：身近な素材や道具を使って遊ぶことを楽しむ（教育）
- 2週目：戸外や室内で全身を動かして遊ぶことを楽しむ（教育）
- 3週目：一人ひとりの思いや要求を受け止めて安定して過ごせるようにする（養護）
- 4週目：音楽に合わせてうたったり、体を動かすことを楽しむ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- こどもの日を知らせた時には大変興味を示し、鯉のぼりの製作を楽しんだり家に飾っている鯉のぼりの話を聞かせてくれる子どもがいた。
- 連休明けには登園を拒み、泣いて過ごす子どももいたが、保育者ともまめにコミュニケーションをとることで次第に落ち着いて過ごす姿が見られた。
- 月の後半には生活の流れや自分の荷物を置く場所が分かる子どもが増え、身の回りのことを自分でやってみようとする子どもが多くいた。
- 着替えには時間がかかるが、最後まで自分でやろうとする姿が見られる。できない時には保育者に声をかけ、手伝いをお願いできる子どももいる。
- 家で楽しかったことや周りの様子を気を取られ、なかなか身支度が進まない姿もある。
- 同じグループの友達と会話をしながら楽しく食事をしている。会話に夢中になって食事が進まないことがある。
- 自分が知っている言葉で気持ちや経験した出来事を伝えようとする。思うように言葉にできないこともある。
- 蒸し暑くなる日もあり、自ら水分補給をしようとする子、遊びに夢中になる子がいる。
- 野菜の栽培を始めると積極的にお世話をしようとする姿が見られていた。
- 母の日について伝え、「ご飯作ってくれる」「一緒に公園行く」等と言葉にする姿が見られた。

教育（遊び）

- 自分の好きな遊びを見つけ、繰り返し楽しむ姿が見られる。また、好きな友達との関わりを喜び、一緒に遊ぼうとする姿がある。
- 年上の友達がやっている遊びにも興味を持ち、「どうやってやるの?」「やってみたい」など保育者に声をかけ、挑戦してみようとする子どももいる。
- ハサミやのりなど初めて使う道具に緊張し、製作を嫌がる子どももいたが、一緒に繰り返し使っているうちに抵抗なく使えるようになってきている。
- 体操遊びやリズム遊びでは、友達の様子を見ながら一緒に楽しむ姿が見られる。
- 自然の生き物に興味を持ち、ダンゴムシを探したりアリを観察したりしている。また、図鑑でアリの家などを見つけ、「すごいね!」などより関心を持っている。
- 進級してから使用できるようになった固定遊具の遊び方にも慣れて、喜んで遊ぶ姿が見られている。
- 友達の遊びを真似し、一緒に遊ぶことを喜ぶ。
- 鬼ごっこや椅子取りゲーム等の集団遊びに意欲的な姿、タッチできないことや座れないことで消極的になる姿が見られる。

- 自分のイメージをブロックやお絵かき、粘土等でのびのびと表現している。
- 友達と関わって遊ぶことを楽しむ一方で、気持ちのぶつかり合いでトラブルになることもある。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**着替えや食事の準備など、身の回りのことを何でも自分でやってみようとする。（健康）
環：着替えや身の回りのことを自分でやってみようとするが、なかなか上手くできない子どももいる。自分でやろうとする意欲をしっかりと認め、子どもの意欲が落ちないように援助していく。
- **活：**保育者や友達に、自分の思いをしぐさや言葉で表現する。（言葉・表現・人間関係）
環：自分の思いをなかなか表現できず、固まったり黙り込んだりする子どももいる。気持ちを代弁しながら一人ひとりの思いを探り、しぐさで表現できるように援助していく。また、気持ちを聞く際には周りの環境にも配慮し、必要に応じて気持ちを表現しやすい環境を整える。
- **活：**「おはようございます」「さようなら」などの基本的な挨拶を覚え、言おうとする。（言葉）
環：基本的な挨拶を改めて確認し、どんな場面で言えば良いかなど子どもと一緒に考える機会を持つ。
- **活：**泥や汗で汚れた状態に気が付き、着替えをする。（健康）
環：気温や活動に応じて、新しい衣服に着替えることの心地よさを知らせていく。汗でなかなか着脱が上手くいかない場合は、様々な解決策を伝え、自分で行動できるように促す。
- **活：**共有の用具や物の貸し借り、順番の必要性を知る。（人間関係・環境）
環：場所や物の取り合いでは双方の意見を聞き、思いを受け止めた上で順番に使うことを促す。共用の用具の使い方を伝える。
- **活：**生活に必要な約束事を守り、自分のことを自分でやろうとする。（健康）
環：順番に並んで手洗い場を使う、トイレのスリッパを揃えるなどの約束事の意味を丁寧に知らせていく。
- **活：**虫歯予防デーを知り、歯の健康に興味を持つ。（環境・言葉）
環：虫歯予防デーには分かりやすい絵本やパネルシアターを準備し、子どもが歯の健康について興味を持ちやすい工夫をする。
- **活：**安心した気持ちで自己表現し、安定して過ごせるようにする。（健康）
環：梅雨の時期は情緒も不安定になりやすいため、自分の気持ちを安心して伝えられる雰囲気を作り、丁寧に受け止めながら関わっていくとともに、声や体で自己表出できる活動を取り入れていく。
- **活：**手洗いを丁寧にしようとする。（健康）
環：生き物や草花に触れることも多いため、手洗いの重要性を繰り返し伝えていく。又、手を洗う様子を見守り、必要に応じて「石鹸はつけたかな？」「指の間も洗ってみよう」と丁寧に手洗いが出来るよう関わる。
- **活：**夏野菜の生長に気付き、言葉で知らせる。（環境・言葉）
環：気付いて言葉にする姿を大いに受け止め、クラス全体にも知らせていくことで夏野菜への関心を高められるようにする。
- **活：**自分の体や健康について興味を持つ。（健康）
環：梅雨の時期の過ごし方を伝えて、着替えや水分補給に対する意識に繋がったり、身体測定では成長していることを伝えて喜びを感じられるようにする。
- **活：**自分からトイレに行こうとする。（健康）
環：自分で行こうとする姿を大いに認める。失敗してしまっても、「大丈夫だよ」と笑顔で言葉かけし、他児の目に入らないよう配慮しながら着替えを行う。

- **活：**一人ひとりの様子に合った午睡の時間を確保し、健康に過ごせるようにする。（健康）
環：睡眠時間に個人差が出てくる時期のため、梅雨期の疲れに考慮しながら一人ひとりが十分に体を休められるよう関わる。
- **活：**時の記念日について知り、時計や数字等に興味を持つ。（環境）
環：歌や絵本等を通して時の記念日について知らせ、身近にある時計を探したり、生活と時間を結び付けて話すことで、時間や数字等に対する関心に繋げていく。
- **活：**父の日に向けて製作をすることを楽しむ。（表現）
環：絵本を通して父の日について知らせ、「お家でどんなことしてる？」「お仕事に行ってるね」等と言葉かけしながら保護者への気持ちを高められるようにする。

教育（遊び）

- **活：**好きな遊びを繰り返し行い、工夫しながら遊びを広める楽しさを味わう。（環境・表現）
環：子どもが興味を持って遊んでいる遊びが広がるよう、様々な種類の廃材や折り紙などを準備しておく。また、遊びが広がるような声かけを行ったり、必要に応じて手助けを行ったりしていく。
- **活：**気の合う友達やクラスの友達との関わりを喜び、関わって遊ぶことを楽しむ。（人間関係）
環：クラス活動では様々な友達と関わる機会を設け、好きな友達だけでなくいろんな友達の存在を知れるようにする。
- **活：**製作に必要なモノの名前や使い方を覚え、丁寧に使おうとする。（環境）
環：製作に使用するモノは事前に繰り返し確認し、子どもが名前や使い方、約束を覚えられるようにする。
- **活：**運動遊びなどを通して、しゃがむ、ジャンプするなど様々な身体の使い方を知る。（健康）
環：運動遊びを行う際には、様々な動きを取り入れることで、いろんな身体の使い方に挑戦できるようにしていく。
- **活：**戸外で思いっきり身体を動かして遊ぶことを楽しむ。（健康）
環：保育者もダイナミックに身体を動かし、子どもの意欲を引き出していく。
- **活：**自然の生き物に興味を持ち、触ってみたり観察したりする。（環境・健康）
環：ダンゴムシやてんとう虫など興味を持った生き物について、図鑑で一緒に見たり観察したりし、興味を広げていく。
- **活：**砂、泥、水に触れ、感触をたっぷり楽しむ。（健康・表現）
環：「さらさら溶けていくね」「ねちょねちょだね」等、感触を言葉で表現し、子ども達が感触や変化をより意識づくように声掛けをする。苦手な子には無理強いせず、汚れずとも遊べるようにスコップやバケツを用意しておく。
- **活：**のりやはさみ、粘土などを通し、指先を使って製作をする。（表現）
環：分かりやすい場所にペン立てを置いてそこから使うなど、子どもが取りやすく片付けやすい環境を用意し、思い思いの製作活動に集中できるようにする。
- **活：**雨の日の様子を知り、晴れの日との違いの気づきを得る。（表現）
環：レインコート着用で雨の日の散歩に出かけ、雨の日の非日常を楽しめるようにする。水たまりの感覚や雨の日の生き物など、気づきを共有する。
- **活：**梅雨を通して雨の時期の自然に触れ、自然の面白さや不思議さを感じる。（環境）
環：梅雨について紹介する際には、水溜りや雨など子どもの身近なものから連想しやすいように話を進める。
- **活：**約束事を守りながら遊ぼうとする。（健康・人間関係）
環：固定遊具の遊び方や遊ぶ時の約束事について問い、なぜ守る必要があるのかを一緒に考えることで守ろうとする意識に繋げる。
- **活：**イメージを膨らませながら作ったり描いたりすることを楽しむ。（表現）
環：自由な表現を見守り、継続して遊びを楽しめるような環境を作ることで、満足感や創造力に繋げていく。

- **活**：物や場所のやりとりをしながら友達と遊ぶ。（人間関係・言葉）
環：やりとりが上手くいかずトラブルになる時は、落ち着いた環境の中で気持ちを受け止めながら、相手の気持ちを代弁することで相手の気持ちに気付けるようにする。又、子どもと一緒に解決策を考えていく。
- **活**：喜んだり、悔しがったり様々な思いを経験しながらルールのある遊びを楽しむ。（人間関係）
環：楽しく参加しやすい雰囲気作りをし、一人ひとりの気持ちに寄り添いながらルールのある遊びの楽しさを感じられるよう関わる。
- **活**：歌をうたったり、製作等を通して季節を感じる。（環境・表現）
環：繰り返すうたう機会を設けたり、製作にちなんだ絵本や写真等を用意して日常的に季節を感じられるようにする。
- **活**：鈴やタンブリン、カスタネット等の使い方が分かり、音楽に合わせて鳴らすことを楽しむ。（表現）
環：遊ぶ前には鳴らし方や約束事を子ども達と確認し、楽しさや大切にしようとする気持ちに繋がっていく。
- **活**：年上の子の遊びに興味を持ち、真似をして遊ぶことを喜ぶ。（人間関係）
環：同じ遊びをしてみたいという気持ちや、挑戦しようとする気持ちを受け止めて、満足感に繋がったり「年長さんみたいだね」と笑顔で言葉かけしていくことで喜びや年長児を憧れる気持ちを育んでいく。
- **活**：言葉のリズムや音を楽しむ。（言葉）
環：紙芝居や絵本の決まり文句を声に出して楽しさや面白さに繋がったり、なぞなぞや手遊び等を通して様々な言葉に触れられるようにする。
- **活**：保育者や友達の遊びに興味を持ち、加わって楽しむ。（人間関係）
環：自分からは加われない子もいるため、様子に応じて誘いかけることで遊び出せるよう関わる。楽しさを共有しながら遊びの幅を広げていけるようにする。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 運動遊びや室内遊びの際には、周囲に危険なものがないかよく確認し、ケガのないよう気を付ける。
- 天候によって暑い日や肌寒い日の差が出てくる時期。また、活動によっても体温の変動があるため、子どもの様子を見ながら衣類の調節をするよう声をかけていく。
- 室内遊びが続くと、情緒面が不安定になることも予想されるため、思い切り体を動かす遊びを取り入れたり、雨の降り具合によってはあえて戸外で過ごす機会も取り入れる。
- 室内環境を整え、小まめな水分補給をすることで熱中症予防に努める。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- びっくり小物入れ／ポップアップカード／ミニフォトフレーム

歌

- とけいのうた／おとうさん／かえるのがっしょう

絵本

- そら はだかんぼ！／ちいさな きいろい かさ／げんきなマドレーヌ

手遊び

- たなばたさま／すいかのめいさんち／きつねがね、ばけたとさ

室内室外遊び

- じゃんけんバスケット／オセロめくり／ふうせんうちわバレー

行事

- 保育参観（親子ふれあいデー）
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 入梅（6月）
- 虫歯予防デー（6月4日）
- 歯と口の健康週間（6月4日～10日）
- 時の記念日（6月10日）
- 夏至（6月中旬）
- 父の日（6月第3日曜）

食育

- 年上の友達が育てている夏野菜の成長を見て、食に対する興味を持つ。
- 食べ物が出てくる絵本などを通して、食材が身体を作る仕組みを知る。
- 座って食べる、スプーンを使うなどの簡単なマナーを守って楽しく食事をする。
- 食具や食器を丁寧に扱おうとする気持ちを持つ。
- トウモロコシの皮むきやそら豆のさやむきを通して、旬の野菜に興味を持つ。
- 友達と食事をするを楽しむ。

異年齢保育

- 年上の友だちのダイナミックな泥・水遊びへの憧れに寄り添い、一緒に楽しめるよう仲立ちする。
- 製作あそびで友だちの作品をまねようとする姿を見守り、子ども同士の教え合いややり取りを促す。
- 年下の友だちに対して優しい口調や接し方で関わる姿を見逃さずに認め、自信を育む。
- 年長児が育てる野菜への興味をきっかけに、年長児との関わりが広がるように働きかける。
- ごっこ遊びを見守り、時には遊びに加わりながら、友だちとイメージを共有できるよう関わる。

職員間の連携

- 個々の生活面の発達状況を共有し、担任間で一貫した援助を行い、子どもの意欲を育む。
- 戸外あそびでは、遊具の安全確認を徹底するため、役割分担を決めておく。

- 室内では、少人数で落ち着いて活動できるよう、担任間で玩具や配置を見直し、環境を整える。
- 一定時間ごとに室温と湿度を確認し、換気をしたり、エアコンや扇風機を利用して、室内を快適に保つ。
- 泥・水遊びの準備がスムーズに進むよう、役割分担や動線を、その日入る職員にわかりやすく共有する。

地域と家庭との連携

- 梅雨になり食中毒などが発生しやすい時期であることを知らせ、園や家庭を清潔に保つよう配慮をお願いする。
- 雨降りが続き、肌寒い日や蒸し暑い日など気候の差が出る時期。体温調節しやすいような服装を用意してもらうよう伝える。
- 虫歯予防デーにちなみ、家庭でも歯磨きのやり方を改めて確認してもらえよう協力をお願いする。
- シャワーを浴びることやプール開きについて知らせ、準備物の用意をお願いする。
- 保育参観では、日常の様子を見てもらったり、親子で楽しく触れ合えるような時間を提供する。
- 感染症の発生について連携する医療機関と情報共有する。

長時間保育の配慮

- 遊びのタイミングや子どもの様子を見て排泄を促し、個々に応じた援助を行う。
- 他児のお迎えに敏感な子の不安を受け止め、スキンシップを取りながら安心できるように関わる。
- 夕方の戸外活動時は人数確認を徹底し、保育者同士で声をかけ合い、安全に配慮しながら見守る。
- ゆったり過ごせるよう、折り紙やパズルなど、落ち着いて取り組むことができる遊びを用意する。
- 荷物の整理整頓を子どもと一緒にしながら、忘れ物や返し間違いを防ぐ。

自己評価

- いろんな友達と関わって遊ぶことができたか。
- 好きな遊びを広げ、遊び込む姿が見られたか。
- 「おはようございます」「さようなら」などの基本的な挨拶をしようとする姿が見られたか。
- 自然の生き物や環境に興味を持ち、触れたり見たりする機会を持てたか。
- 戸外で身体を動かして遊ぶ心地よさを感じられたか。
- 生活の流れが分かり、自分で何でもやってみようとする姿が見られたか。
- 保育者や友達に対して、自分の気持ちをしぐさや言葉で表現しようとする姿が見られたか。
- ハサミやのりなどの使い方を覚え、道具を使いながら製作することを楽しめたか。
- 梅雨期で崩れがちになる体調や情緒面に配慮したか。
- 安心して自分の気持ちを伝えられるような雰囲気を作ったか。
- 梅雨ならではの遊びができたか。
- 室内で過ごすことが多くなる時期だが、室内でも体を動かせるよう工夫したか。
- ルールがある遊びを楽しめたか。
- 様々な行事を分かりやすく伝えて興味に繋がられたか。
- 野菜の栽培や食育活動を通して身近な食べ物に対する関心が高まっていたか。
- 保育参観では親子で楽しむ様子が見られたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

